

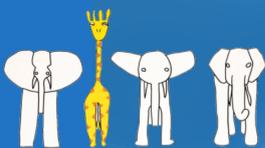


Social Welfare Corporation

K AISEIKAI

Public relations magazine

2026



Vol. 01



令和七年度 法人成人式
二十歳のつどい

Contents

トップメッセージ 広報誌創刊のご挨拶 理事長 宮本 英行
法人本部より
事業所Q&A 光の園/所沢市立キャンパス/はあもにい/こみゅーと/ぽぶり/三ヶ島ホーム
法人研修報告

トップメッセージ 広報誌創刊のご挨拶



理事長 宮本 英行

日頃より皆成会の事業に多くの皆様にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和8年がスタートして2カ月が経とうとしています。

現在、社会全体として物価の上昇や人手不足などが続いており、障害のある人の生活に大きな影響をもたらしています。また、同様に事業所運営にとりましても職員人材不足や処遇の改善、職場の働く環境改善など多くの課題に取り組む日々となっています。法人として引き続き一つ一つの課題に向き合いながら取り組みを進めてまいります。

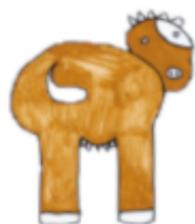
去年は、光の園が施設の老朽化による建替え工事が正式に決定し、法人としても大きく事業が推進した年になりました。法人の始まりである光の園は45年を迎え、新たな施設に生まれ変わります。重度の障害のある人が安全に明るく、生き生きと活動できるように変わらぬ支援を行っていきます。

さて、昨今の障害者福祉の状況に目を向けてみますと令和5年度から令和6年度で障害者福祉に関する費用が12%増と毎年のように費用が増加しています。要因の一つとしてここ数年で新規の事業者が障害者福祉に参入してきている現状があります。多くの事業者が参入することにより障害のある人が事業所を選択する幅が広がるということもありますが、一方で支援の質の問題もクローズアップされてきました。このような状況の中、まずはしっかりとした支援体制を構築し、継続していくことが求められています。現在進めています人材育成制度の推進や障害者支援に対して専門性の向上への取組み、専門的人材の確保など法人の基盤整備を引き続き進めてまいります。

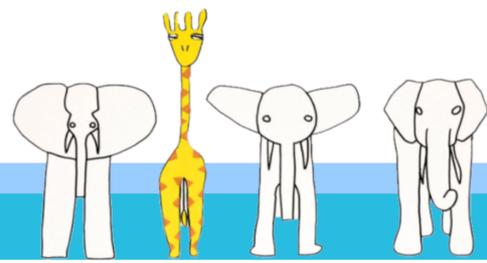
また、法人の短・中期計画の策定と実施に向けた取組みを推進してまいります。法人設立以来45年間、障害のある人、ご家族の必要とする支援を先駆けて実践してきたことを振り返り、今後も日々変化する社会情勢と障害のある人、ご家族のニーズをしっかりと把握して事業につなげてまいります。

今後も様々な取組みの中で、障害のある人の生活がより良いものとなるよう法人として事業の推進に努めてまいります。

引き続き変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



法人本部



私たちの法人は「私たちは、真の愛情と科学に基づき、人間の発達を正しくかつ豊かに保障し得る施設と社会づくりを目指します」という理念のもと、その実現に向けて全職員の知恵と行動を大切にしながら事業を推進してまいりました。社会情勢や障害者福祉を取り巻く環境が大きく変化する中においても、一つ一つの課題に真摯に向き合い、皆様と共に共生社会の実現に取り組んでまいります。今後とも、変わらぬご理解と温かいご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

法人本部は、各事業所の運営を支援・統括する中核機関として、法人理念に基づいた安定的かつ質の高いサービス提供の推進に努めています。人事・労務管理、財務管理、法令遵守の徹底、職員のコンプライアンス意識の向上、各種委員会の運営などを通じて、現場の職員が安心して支援に専念できる体制づくりを進めています。

また、利用者の皆様の権利擁護や虐待防止への取り組みをはじめ、地域関係機関との連携強化、職員の人材育成や専門性向上にも積極的に取り組み、法人全体の支援の質の向上を図っています。

今後も法人本部は、短期・中期的な視点を持ちながら法人運営の基盤整備を進め、利用者の皆様、ご家族の皆様、そして地域の皆様から信頼される法人運営を目指してまいります。



光の園は、法人設立と同時期に施設が開所され、今年で45年が経とうとしています。45年という節目のなかで現在、老朽建設工事が計画通りに進み、令和8年4月に新施設がスタートする予定となっております。45年の歴史の中で、光の園運営で大切してきたものは、利用者の皆さま一人一人の人生を、生活を豊かにし、地域の中でその人らしく活躍することを支援することでした。それを実現するために光の園は、様々な活動、地域との交流などを運営の中心に置き、大切にしてきた歴史があります。これを今後も継続しながら新たな施設においても利用者の皆さまやご家族の皆さま、地域の皆さまに必要とされる施設運営を目指してまいります。

question

どんな事業をしていますか？

生活介護事業になります。

question

どんな活動をしていますか？

○作業・活動内容

- ・自主製品制作（刺繍、さをり織りなど）
- ・内職等（パネル袋詰め作業、解体作業）
- ・サークル活動（アート、音楽、Nスポーツ、書道など）

○施設外

- ・リサイクル活動（資源回収）
- ・余暇活動（日帰り旅行や季節イベントなど）活動を通して、社会参加を実現しています。



question

施設の特徴は何ですか？

令和8年4月にオープンする新施設「光の園」は、利用者の皆さまがのびのびと活動ができるように広々とした平屋造りとリラックスして過ごせるよう木のぬくもりが感じられる施設です。

また、全館バリアフリーと空調完備、最新の機械浴設備、床暖房部屋、地域交流室などなど、災害時対応設備も完備しております。



question

食事の提供はありますか？

調理は外部委託をしています。自施設の厨房設備にて調理をして栄養バランスの整った温かい昼食を提供しております。

また、個々の嚥下状況や食物アレルギーの状況にあわせて食事提供をしています。

question

送迎はありますか？

現在マイクロバス、ハイエース車両で運行中です。

question

入浴支援はありますか？

令和8年4月にオープンする新施設に有ります。最新の機械浴が導入されます。

question

特に力を入れている取り組みはありますか？

光の園は開所以来、45年、障害のある方が社会参加し、地域で活躍できる活動に取り組んできました。日中活動をとおして、小学校やこども園との交流をさらに充実します。

question

どのような方が利用できますか？

障害種別としては、「知的」「身体」「精神」の障害のある方。

18歳以上の方。障害支援区分3以上の方。

まずは各市町村の障害福祉課にご相談ください。



question

見学・ボランティアをするにはどうすればいいですか？

お気軽に担当者まで、ご連絡ください。
KAISEIKAI ホームページお問い合わせからも申し込み可能です。

<https://www.fukusikaiseikai.or.jp/>

question

開所時間は何時ですか？

9:30~15:30 (送迎時間は含まれません)

question

今後、どんな施設にしていきたいですか？

利用者の皆さまも職員も、楽しみ、笑い、喜びある施設にしていきたいです。



光の園HP



キャンパスでは、障害特性に合わせたグルーピングと理学療法士による専門的リハビリ、音楽、運動、作業、入浴など多様な活動を通じ、自分らしく生き活きと過ごせるようにサポートします。目指すのは、医療的ケアが必要な方を含む全ての利用者の皆さまが安心して通える施設です。防犯、感染症、災害対策を徹底し、強度行動障害、高齢障害者、重度障害者の方々にもきめ細かく対応することで、「明日も来たい」と思える質の高い生活介護を目指します。

question

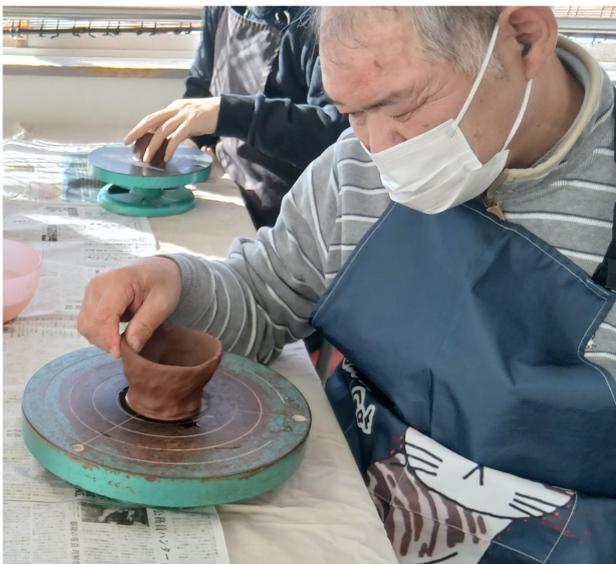
どんな事業をしていますか？

生活介護事業になります。

question

どんな活動をしていますか？

理学療法士によるリハビリ、外部講師による音楽、スポーツ活動、近隣の農地を借りて農業、企業からの内職作業、自施設で作るグリセリン石鹸、キャンドル、染め物、陶芸があります。



question

食事の提供はありますか？

調理は外部委託をしています。自施設の厨房設備にて調理をして栄養バランスの整った温かい昼食を提供しております。

また、個々の嚥下状況や食物アレルギーの状況にあわせて食事提供をしています。

question

施設の特徴は何ですか？

障害特性に合わせたグルーピングをしています。

question

送迎はありますか？

現在、マイクロバス、ハイエースで所沢市全域を運行中です。



question

入浴支援はありますか？

あります。令和7年度7月に導入した身体への負担が少ない、最新のシャワー機械浴を導入しています。



question

特に力を入れている取り組みはありますか？

- ・四季に合わせたイベント活動：お花見、七夕、秋祭り、クリスマス、節分
- ・グループで決める外出活動：日帰り外出
- ・利用者の皆さままで進める自治会：ひまわり会により全てのイベントは利用者の皆さまが決めて行っております。



question

どのようにしたら利用できますか？

所沢市業務委託事業の為、所沢市役所障害福祉課にご相談をお願いします。

question

開所時間は何時ですか？

9：30～15：30（送迎時間は含まれません）

question

今後、どんな施設にしていきたいですか？

所沢市立キャンバスが目指すのは、医療的ケアが必要な方を含む全ての利用者の皆さまが心から安心して通える施設です。

その実現のため、感染症対策や防災対策といった安全管理を徹底するとともに職員一同が専門的研修に積極的に参加し、知識と技術の向上に努めます。これにより、多様な障害特性を持つ方々へ質の高い、安心できる支援を提供できるようにします。



question

見学・ボランティアをするにはどうすればいいですか？

お気軽にキャンバスまでご連絡ください。

キャンバスHP



はあもにい

はあもにいは、生活介護事業・就労継続B型事業の2事業を運営しています。北野地域に移転して7年目となり地域の皆様との交流する機会も徐々に増えています。利用者の皆さまが安心して通所できる環境づくりと一人ひとりの可能性を大切にしたい支援を心がけています。今後も地域とのつながりを大切にしながら、笑顔あふれる施設運営に努めてまいります。引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

question

どんな事業をしていますか？

就労継続Bと生活介護事業になります。

question

どんな活動をしていますか？

○作業・活動内容

- ・企業下請け、リサイクル、清掃
除草

納品作業等

- ・内職等(さつまいもの根とり、自転車関連部品袋詰め、シール貼り等)
- ・自主製品製作(さをり織り、キャラクターグッズなど)
- ・規格外野菜販売 約10か所で販売
- ・加工品販売 (漬物、乾燥野菜など)
- 他事業所・企業との共同開発

○施設外

- ・地域交流(野菜収穫等)
- ・余暇活動(季節行事の装飾品作り
公園・近所散歩等)
- ・リサイクル作業
(所沢市委託回収業務、資源回収)
- ・納品作業 (野菜の納品)

question

食事の提供はありますか？

あります。調理は外部委託に委託しています。クリスマス等の季節イベント時には特別メニューになります。

question

施設の特徴は何ですか？

生活介護事業所は、地域との交流や作業活動を中心とした支援を行っています。利用者一人ひとりのペースや得意を大切にしながら、軽作業や創作活動などを通じて、日常にやりがいや達成感を感じられる時間を提供しています。

就労継続B型事業所は、利用者の皆さまが自分らしく働き、日々の達成感を積み重ねられるよう、多種多様な作業メニューをご用意しています。軽作業から納品・回収活動、受託業務まで、興味や得意を活かせる環境づくりに力を入れています。



question

送迎はありますか？

現在マイクロバス、ハイエース車両で運行中です。

question

入浴支援はありますか？

機械浴と一般浴があります。

question

特に力を入れている取り組みはありますか？

1. 地域とのつながりを深める交流活動
 - ・ 地域イベントへの参加・共催：バザーなどに出店・出演し地域住民との接点を増やす。
 - ・ 地域清掃や農作業ボランティア：公園清掃や地元農家との連携で、地域貢献と作業体験を両立。
 - ・ 地域施設との協働：保育園や高齢者施設との交流会、イベント。
2. 作業活動の幅と質の向上
 - ・ 多様な作業メニューの導入：封入・組立・農作業など、利用者の特性に応じた選択肢を用意。
 - ・ 自主製品の開発・販売：刺染色布など地域のニーズを意識した商品づくり。
 - ・ 作業の意味づけと振り返り：作業日誌や目標設定を通じてやりがいや成長を実感できる仕組みを整備。
3. 生活介護とB型の連携による相乗効果
 - ・ 生活介護での創作活動をB型で商品化創作の成果を地域販売につなげることで、達成感と収益性を両立。
 - ・ 両事業所のスタッフ連携：支援方針の共有や合同活動を通じて、利用者の可能性を広げる支援体制を構築。

question

今後、どんな施設にしていきたいですか？

地域の方々との交流や協働を通じて、施設の活動を知ってもらい、共に支え合える関係を築いていきたいと考えています。

question

見学・ボランティアをするにはどうすればいいですか？

施設へご連絡下さい。希望に合わせて対応させていただきます。

question

開所時間は何時ですか？

基本は、9：30～16：30（送迎時間は含まれません）

question

どのような方が利用できますか？

- ・ 就労継続支援B型の利用対象は、一般企業などでの就労が困難な方、障害者手帳を持っている方、または医師の診断・意見書がある方、就労経験があるが方、年齢や体力などの理由で一般就労が難しくなった方
- ・ 生活介護は、障害種別としては、「知的」「身体」「精神」の障害のある方。18歳以上の方。障害支援区分3以上の方。まずは各市町村の障害福祉課にご相談ください。



はあもにいHP



こみゅーと

管理者 高橋 清子

こみゅーとは所沢市より委託を受けた相談支援事業、指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業障害を行っている事業所です。委託相談支援事業所として地域にお住いの障害をお持ちの方やご家族の方が生活上で困っていること、各種サービス利用や福祉についてご相談いただける窓口となっています。

また、所沢市自立支援協議会の運営協力や障害者虐待に関する、通報・届出の受理並びに相談支援を行う障害者虐待防止センターの機能も果たしています。「利用者の皆さまの声に耳を傾け、質の高い相談支援が出来るようにしよう」をスローガンに、日々利用者の皆さまの福祉サービスの利用状況のモニタリングやお困りごとの解決に向けた相談を受け付けています。



〒359-1111

埼玉県所沢市緑町4-1-12

TEL 04-2008-3244 FAX 04-2924-3366

こみゅーとHP



居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援・生活サポート

ぽぷり

管理者 福田 宏美

ぽぷりでは、ご自宅へのヘルパー派遣、事業所での一時預かり、外出の付き添いや送迎など、幅広いサービスを提供しており、利用される皆さまが住み慣れた地域・ご自宅での生活を継続していけるようお手伝いしています。事務所は新所沢駅に近く、近隣で散歩や外食を楽しんだり、電車で出かけるにも便利な場所にあります。

また建物はバリアフリーになっており、車いすの方も過ごしやすく、生活サポートを利用して入浴することも可能です。ご家族の休息などの目的でもご利用いただけますのでご相談ください。介護を提供するだけでなく、より心地よい時間を過ごしていただけるよう、職員一同、利用者の皆さまとのかかわりを大事にしていまいます。



〒359-1111

埼玉県所沢市緑町4-1-12

TEL 04-2924-2255 FAX 04-2924-3366

ぽぷりHP



グループホーム

三ヶ島ホーム

サービス管理責任者 岩田 圭太

三ヶ島ホームは、三ヶ島地区にある【三ヶ島ホーム】、上山口地区にある【はなみずき】上新井地区にある【小手指ホーム】、北秋津地区にある【北秋津ホーム】の4つのグループホームから形成され、総称として三ヶ島ホーム運営としています。

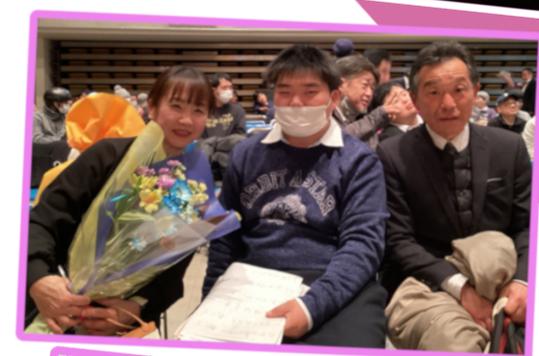
一人一人が居心地の良い空間や雰囲気づくりと、ご家族が安心して任せられる信頼ある支援と対応、自分で選択のできる意思を汲み取る支援を大切にしています。短期入所は、三ヶ島ホームに1室、はなみずきに1室を完備して、ご家族のニーズに対応しています。穏やかで心地よく、アットホームなホームを目指しています。

二十歳のつどい

Congratulations

Next Stage ~新たな一歩、無限の可能性~

令和7年度1月16日(金)に小手指まちづくりセンターにて法人成人式が開催されました。光の園の利用者3名の方たちの二十歳をお祝い致しました。





令和7年度 法人研修
 研修テーマ
 【自己覚知と他者覚知】
 【集団で働く時に必要なこと】
 【介護(福祉)の専門性】



講師：社会福祉法人めぐみ会 理事長 福應 渉氏

令和7年12月13日(土)国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局秩父学園研修所にて社会福祉法人皆成会の法人全体研修を開催しました。総勢60名以上の職員が参加しました。今回は社会福祉法人めぐみ会 理事長 福應渉氏を講師にお迎えし「障害福祉に携わる人の職業倫理」について大変興味深いご講義をして頂きました。

初めは「自己覚知と他者覚知」をテーマに、まず自身のライフヒストリーを作るというものでした。この作成を通じ、自身の歩みを振り返るとともに、「WILL(やりたいこと)」「CAN(できること)」「MUST(すべきこと)」のフレームワークを用いて自己分析を行いました。MUSTに取り組むことでCANが広がり、WILLに繋がっていくことを教えて頂きました。また、「集団で働く為に必要なこと」では組織の目的は「理念」であり、それを具体化したものが行動指針であると学びました。職員一人ひとりがその理念を目指すことが、組織の存在理由の実践となるのです。

また「専門性」についての講義では、専門職とは高度な知識・技術を持つだけでなく、クライアントの利益優先を「公言する」存在であるべきと定義されていました。今回は日本介護福祉士会の倫理綱領に基づき、利用者本位の支援やプライバシー保護、自立支援などを実践することが専門職の条件となるとお話し頂きました。改めて職員として、倫理的観点の重要性を学ぶことができました。虐待についても、不適切なケアである「グレーゾーン」を放置せず、「虐待の芽」として摘み取ることの重要性を再認識しました。

今回の研修は、障害福祉に携わる者としての根幹を学べる貴重な機会となりました。お忙しい中ご講義頂きました福應様には、心より感謝申し上げます。



編集後記

この度、無事に法人広報誌の創刊号をお届けすることができました。本誌が、皆様をつなぐ「架け橋」のような存在になれるよう、編集委員一同、誠心誠意努めてまいります。内容へのご意見・ご感想もぜひお寄せください。次号もどうぞお楽しみに。

広報委員長 田邊 純子

発行：社会福祉法人皆成会
 発行者：宮本 英行
 発行日：令和8年2月26日
 〒359-1106
 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘6-2833-2
 TEL 04-2922-8141 FAX 04-2922-8137

皆成会HP

